



『恩の交わり』

校長 □□ □□



今年度の篠島小学校の教育活動が、間もなく締めくくりを迎えようとしています。1年間は長いようで、気付けばあっという間だったと感じる方も多いのではないのでしょうか。短く感じるということは、毎日が充実していたということでもあります。子どもたちも充実した学校生活を送ってくれて、「成長したな」と感じる場面を数多く見ることができました。

先日、「6年生を送る会」を行いました。1年生から5年生までの子どもたちは、この日のために意欲的に出し物の内容を考え、練習を進めてきました。特に、5年生は会全体の企画や運営を担い、先の見通しや広い視野をもって万全の準備を進め、当日を迎えました。当日は、各学年がさまざまな趣向を凝らし、歌、ダンス、クイズ、思い出の映像の披露、感謝の手紙やプレゼントの贈呈などが行われました。6年生からも下級生への感謝のメッセージとプレゼントが贈られました。中には、感極まって涙をこぼす子どももいました。機器の操作や低学年児童の補助以外、運営や進行のほとんどを子どもたちが担ったことが、より温もりを感じさせたのかもしれませんが、なぜ、子どもたちはこれほどまでに主体的に取り組むことができたのでしょうか。それは、6年生と下級生との間でお互いへの感謝、敬い、慈しみなどの気持ちが通じ合っていたからでしょう。「6年生のために」「後輩のために」という相手への熱い思いが、子どもたち一人一人の主体的な取組を引き出したのだと思います。

日頃からお世話になっている保護司の方に「校長先生、恩送りという言葉を知っているかい」と問われたことがあります。私が意味をお尋ねすると、「恩返しというのは、恩をいただいた人に感謝の気持ちをもってお返しをすることだけど、恩送りというのは、恩をいただいたことに感謝しつつ、その後に自分が出会った人たちに恩をつないで送っていくことだよ。その方が世の中に恩が広がっていくんだ」と教えていただきました。

篠島小学校の子どもたちが「6年生を送る会」を通して見せてくれた姿は、まさに「恩返し」と「恩送り」の両方の心を体現するものでした。6年生は自分たちが受けてきた恩を下級生に送り続け、下級生は恩をいただいた6年生に感謝の気持ちを表す。その下級生の気持ちに答えようと、6年生は下級生に感謝の気持ちを伝える。また、下級生（特に5年生）は今の6年生のように恩を自分の後輩たちに送っていく。

遙か昔から篠島に息づく心温まる循環が、今の篠島小学校の子どもたちにも着実に伝わっていることに深く感謝しながら、これからもその循環がしっかりとつながっていくように、私たち篠島小学校の職員が受けてきた恩を、皆で子どもたちに送り続けていきます。

6年生を送る会

3月3日（火）に、6年生を送る会が行われました。在校生たちが卒業生のために、さまざまな出し物を発表しました。



令和8年度4月の主な予定

- | | | | |
|----------|-------------------------|----------|------------------|
| 4月 8日（水） | 入学式 | 20日（月） | □座振替日 |
| 9日（木） | 始業式 | | ⑤小中合同クлинаップ |
| 10日（金） | 全学年3時間授業 | 21日（火） | 授業参観、PTA総会、学級懇談会 |
| 13日（月） | 給食開始（新2～6年）
PTA理事会 | 23日（木） | 全国学力テスト（新6年） |
| 17日（金） | ③離任式・⑤見送り式
給食開始（新1年） | 24日（金） | ⑤⑥交通安全教室 |
| | | 30日（木） | 4時間授業・家庭巡回 |
| | | 5月 1日（金） | 4時間授業・家庭巡回 |